

新しい風

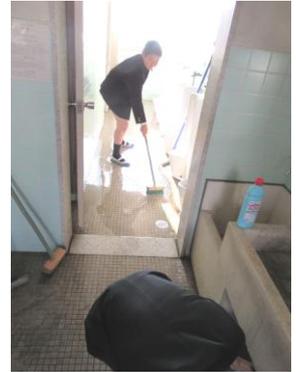
倉敷市立琴浦南小学校

平成28年3月8日

No.32

大切なこと それは結果？それとも・・・

6年生を送る会を企画、運営した5年生。その活動に協力し、今自分たちにできることに取り組んだ1年生から4年生。そして、最高学年らしい姿で下級生の思いに応えた6年生。会の成功は、また1つ子どもたちを成長させました。



上の写真は、3学期始業式終了後の5年生の姿です。2学期終業式、3学期始業式がとても良い雰囲気の中で行われました。それまで全校が集まるたびに規律を保ってきたのが5年生でした。また、この日は、掃除がない日程でしたが、自主的に掃除時間を設けて活動していました。今から2か月も前のことです。6年生を送る会当日だけの努力ではあのような会にならなかったでしょう。ささやかで目立たない小さなこと、大人は当たり前と思えるようなことのひとつひとつに子どもたちの努力やがんばり、時にはがまんがあったに違いありません。ちょうど学校音楽祭の頃にも同じような姿が見られました。

始業式翌日、3学期の良いスタートが切れ、安堵の雰囲気が立ちこめていた職員室。しかし、その時すでに校歌の楽譜が印刷され、音楽室からは5年生の歌声が届いていました。

「式の課題、次は校歌！」

そう感じて、すぐに行動に移したのです。高い目標をもって生活すること、たとえ目立たないことであっても、小さな努力を積み重ねること、その大切さを5年生の姿から学びました。結果だけでなく、それまでの過程に目を向けることが必要です。6年生を送る会に至るまでの5年生の日々の努力には、頭が下がります。『おごることなく、ひたむきに』次は、いよいよ卒業式です。



みんなで歌を歌ってくれた時、とても感動しました。「ありがとう」の言葉が伝わってきました。先生の歌もよかったです。かけ声がとても声が大きくて、言っていることがよく分かりました。

毎年見てきたけど、組体操をした先生ははじめてだからすごく練習をしたんだと思ったし、なんか先生たちの言葉にうろっとしました。

私が入場して1番目に入ったのはかざりです。たぶん授業中や休み時間を使ってしてくれたのかなと思いました。私は在校生のみんなが、一人ひとりの手をつくったものなのでうれしかったです。

